

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 3月 8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200676		
法人名	サンキ・ウエルビィ株式会社		
事業所名	サンキ・ウエルビィ グループホーム吉島		
所在地	広島市中区光南四丁目5-1 (電話) 082-259-3103		
自己評価作成日	令和3年2月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200676-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年3月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

当社は「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」を企業理念に掲げています。その理念に基づき、介護という業務を通じて社会人・組織人としての接遇、コンプライアンスの遵守、介護技術研修、資格取得支援制度、内部・外部研修の参加など積極的な取り組みを行っています。その中で、当事業所は人と人の繋がりを大切にしながら「介護のプロ」として常に「利用者様」を第一に優先する事をスタッフ全員で取り組んでいます。また、サービス付き高齢者住宅、小規模多機能センター、訪問介護事業所など4つの事業が併設・連携をしている事により、地域になくはない密着したサービスを提供できる所が特徴です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」という法人の理念のもと、個人の尊重に基づく利用者にとって最適なケアの実施のために、法人全体で職員研修に力を入れ、介護技術の習得や接遇研修など、「介護のプロ」を目指すための向上に取り組んでいる。地域交流スペースを設置し、地域住民向けのいきいき健康体操などの取り組みのほか、地域住民も気軽に参加できる「収穫祭」の実施、受付にコンシェルジュの配置など、地域の中に溶け込んだ運営を心がけている。

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「企業理念・事業所理念」を作成、掲示して朝礼での唱和をマニュアル化している。	企業理念とともに事業所理念を掲示し、朝礼で唱和することで理念を浸透させている。理念実現の一環として、近隣のちびっこ広場の掃除など、地域とつながる活動の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入して町内の清掃活動、地域行事に参加をして交流している。運営推進会議が定着化して他、定期的に1Fの地域交流室を開放して地元のサークル活動や町内会議、毎週水曜日に「100歳いきいき体操」等に利用して頂き喜ばれている。(新型コロナウイルスのまん延防止と予防対策によりすべて休止中。)	開設当初から地域に向けて活動を行い、町内会に加入することができている。認知症サポーター養成講座や近隣で困っている人を助けたり、こども110番、民生委員や地域包括支援センターとの共同活動など、日頃から事業所自体が地域の一員として日常的に交流を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議の中で認知症サポーター養成講師がいる事を伝えている。今年も吉島地域包括支援センターからの依頼を中心に活動をしており、2020年度は地域住民を対象に3件の開催している。令和2年1月に認知症サポーターステップアップ講座指導者養成研修に推薦を頂き参加をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催して地域密着型サービスとして小規模多機能センター管理者と一緒に現状報告や事故報告などを行い運営内容を開示している。昨年より地域の方と防災訓練を開催して通報訓練・避難訓練・消火訓練を計画している。(今年度はすべて意見・照会とさせて頂いている。)	運営推進会議には、町内の役員や地域包括支援センターをはじめ、独居の方への声かけや安否確認などを行う地域支援プロジェクトの会長も招き、「孫子老(まごころ)」プロジェクトという世代を超えた地域での活動への参画など、会議がきっかけとなり地域活動へつなげることができている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市区担当者とは書類提出や不明な点はすぐ窓口へ訪問して意見や助言をして頂くなど良好な関係が築けている。広島市の空き情報のネット登録や介護保険の更新・情報提供など積極的に利用をさせて頂いている。(安佐南区、中区、南区、西区、佐伯区)	市の担当者とは日頃から介護保険事業所の運営に関する相談をしているほか、地域包括支援センターを通じて市の事業に協力するなど、市との連携に日頃から努めている。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束をしないケア」については契約書に明記しており、ご利用者様に説明と同意を頂いている。また身体拘束委員会を設けて、運営推進会議での意見交換と現任研修の必須項目として開催をして職員の意識向上と介護技術の研鑽に努めている。	毎月行われる事業所ミーティングや実際のケアの取り組みの中で、拘束にならないような介助方法について話し合いを行っている。また、認知症に関するリーダー研修での学びを伝達研修にて伝えたり、個人面談において対応方法や言葉かけの工夫などの向上に向けて努力している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	「虐待防止の徹底」として契約書に明記しており、ご利用者様、ご家族へ説明と同意を頂いています。施設に限らず変化に気づけば管理者や行政に報告・相談ができるよう必須項目研修として職員全体の意識向上に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	契約書に明記しており説明をするとともに、相談や見学等必要に応じてパンフレットを窓口置き対応できる仕組みがある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	説明と同意を行っている。改定時は別表を作成して、ご家族様へ丁寧な説明を心掛けて説明と同意を頂くよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情・相談窓口を作り重要事項説明書に明記をしている。また、GH入り口に意見箱を設置、面会者へ行事写真などの掲示、毎月ご利用者さまのご様子を写真にとりまとめてご家族へ送付や年4回の季刊誌の発行（個別に担当者からのコメント記入）など工夫を凝らしている。	利用者からは日頃の様子から判断しているほか、日頃の近況報告を家族に行う際に、家族からの要望や意見の聞き取りを行っている。その結果、運動を増やしたり好きな食べ物を取り入れるなどの改善に結び付けているほか、写真付きの手紙を家族に送るなどの工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度、ユニットごとの会議を開催している。管理者は本社のエリアブロック会議に参加をして上司に月例報告を元に意見を交換するとともに、会社指示を現場に伝える仕組みができています。	事業所内の職員会議で出た意見を、拠点会議、本社ブロック会議において共有し、会社として対応している。優れた意見や提案に対しては「提案制度」が設けられており、表彰されることもある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回、人事考課制度を設けて目標設定を行い、評価する仕組みがある。また、定期的に1人ひとりとの面談を実施して進捗状況や、やりがいについて意見を交換している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月、年間計画に基づいた現任研修の実施、外部研修への参加できる仕組みがある。また、採用時には採用時研修を正社員登用時には本社での正社員研修を必ず行っている。(今年度は外部研修への参加は見合わせをしている)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修や社内勉強会、地域異業種勉強会、社内セグメント同士の情報交換や意見交換、ネットワーク作り等に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居相談時(見学・自宅・入院先等へ出向き)に本人またはキーパーソン・CM・SWの方にアセスメントを行い、入居にあたり不安な事やご要望を伺い、利用開始日に情報を共有してスタッフが対応できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	入居申し込み書と同時に、問い合わせシート・状況申し込み書・アセスメントシート・緊急連絡表・健康診断書・フェイスシート・入居確認シートを整備してそれぞれのニーズの把握に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	原則、ご利用開始日前より初回アセスメントに基づき「ニーズ」を把握している。その後、カンファレンスを開催して「その時点」での短期目標と他のサービス利用も含めた内容を設定して説明と同意を頂いている。その後は、モニタリングと計画書の見直しを定期的実施している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	共同生活をする中で、できる事と出来ない事を把握して、ご利用者同士の関係も含めてミーティングで話し合い、ご本人が自分らしく生活ができるよう自立支援に努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	常に家族様と連絡が取れるよう体制を作り、行事参加や地域交流会への参加、面会時での情報交換をして関係の構築に努めている。散策の協力や生活用品の買い物依頼など嗜好品を伺いながら、共に利用者様を支える関係を意識している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	開設9年目となり、家族様以外に遠方のご親戚、古い友人などの面会や連絡が増えてきました。その際は写真を撮り双方にプレゼントをしたり居室に飾らせて頂いている。また、緊急連絡表にも追記させて頂き、情報を蓄積している。(今年度は面会制限を設けており、積極的には行えていません。)	感染症対策を行いながら馴染みの関係継続の支援のために、電話やSNSを通じたりリモート面会を行っているほか、家族からの手紙や色紙、年賀状の手伝いなど、本人がこれまで大切にしてきた人との関係が途切れないよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	朝礼と夜勤の申し送りで気づきや注意事項等、人間関係が円滑に図れるよう申し送りと支援経過への記録を徹底して、改善・提案・情報の共有ができるよう仕組みを整えている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	連絡時には必ず対応をしている。現在、入院等でGHの利用が困難になっている方への状況確認や今後の支援は看護師と相談をしながら医療連携室と家族様とで支援をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中や計画書の見直し(6ヶ月)にサービス内容の達成状況を常に確認をしている。新たに意向が確認できた場合には計画書に反映する仕組みがある。	定期的カンファレンスを行い、介護計画の見直しを行う際に本人の意向を踏まえた対応について話し合いを行っている。食事の好みなど、本人や家族からの聞き取りを踏まえて対応するなど、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様を中心に生活歴・趣味・意向などアセスメントへの記録を徹底して、在宅生活の延長の場として安心して暮らして頂けるように支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	既往歴・現病歴(かかりつけ医・服薬も含め)を連携医と把握に努めている。また、介護保険の更新時には必ず情報提供を介護保険課より情報を入手して自立支援を基本にサービスへ反映できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>看護師と介護職員、計画作成者など各職種が連携をしてご利用者本人が主となるよう話し合い、家族様の意向を伺いサービス計画書内容の説明後に同意を頂いている。</p>	<p>一人ひとりの利用者に担当者をつけ、会議で全員の状況について把握し、看護師や介護職員、計画作成担当者とも連携をしながら介護計画の作成を行い、家族の意向も踏まえて計画の見直し等も行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>業務日誌から支援経過への記入(看護記録も含め)情報共有する仕組みがある。また、必要時には介護計画書を見直してサービス目標を再設定している。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>できる事とできない事を見極めながら、ご本人の意向を尊重して対応できる体制で常に取り組んでいる。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>スーパー、地元商店、近隣公園、かかりつけ連携医等、一人ひとりのご要望に応じて対応ができるよう常日頃から支援を続けている。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>契約時にご本人と家族希望のかかりつけ医と緊急連絡順位と搬送先を確認してご要望を伺っている。状態の変化に備えて施設の連携医には入居前に受診をして頂き、緊急時の24時間対応や定期往診などの提案をさせて頂いている。</p>	<p>入居時には事業所の協力医による対応のほか、入居前からのかかりつけ医に引き続きの受診する場合、感染症対策が必要な場合は職員が付き添いを行っている。2つのユニットのうち両方に看護師が配置されており、適切な医療との連携につなげている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>業務日誌(日勤・夜勤)の詳細は支援経過に記録して、全職員へ情報を提供している。その中で必要時に各職種が連携して適切な判断が行えるよう関係機関へ繋げている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院の連携室へ定期的に連絡・訪問をしている。入院時はご家族へ事前に希望入院先や搬送先を確認しており、入院中の経過の把握と退院時の速やかな再入居に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居・契約時に「重度化した場合における対応に係る指針に関する同意書」「看取り介護に関する方針」説明と同意を頂き、入居以降は関係機関との連携に努めている。</p>	<p>入居時に重度化した場合の対応方法について説明し、実際に重度化した場合は再度医療関係者を交えた話し合いを行い、本人や家族の意向を確認し対応している。医療関係者との連携を保ち、チームで支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>「事故発生時または再発防止/事故の発生等緊急時の対応及びリスクマネジメント」として年間研修計画に必須項目として取り入れている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回「非常災害時訓練」として地域消防署とスタッフとの訓練を実施している。内1回は夜間を想定して実施し、災害マニュアルの見直しと役割分担表を確認している。一昨年より近隣住民の方の参加もして頂き、通報・避難・消火訓練を実施していましたが、本年度は少人数で避難通路を再確認するなどリスクを最小限に行っている。</p>	<p>年2回の非常災害訓練のうち、1回は夜間想定での実施をしているほか、具体的な災害を想定した災害マニュアルの見直しや近隣住民との協力による訓練を実施するなど、地域との防災に関する協力体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	年間研修計画に「プライバシー保護」「接遇マナー」の研修を取り入れて、全職員の資質向上と自己研鑽に努めている。	法人本部に「教育研修課」という部署があり、法人全体で接遇やコンプライアンス・記録の記載方法などの研修を行い、統一的で実効性の高い対応方法の習得に努めており、職員の資質向上と自己研鑽に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	一人ひとりに合わせてレクレーションを楽しんで頂けるように心掛け、様々な役割や自信を持って行える事を増やす様に声かけ等工夫を凝らしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	施設理念の「寄り添う心を忘れずに」を基に穏やかな時間の中でご自分のペースで過ごせる事ができる様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご家族より衣類・化粧品をお預かりしたり職員と買い物をする等、好みを伺いながら日々の身だしなみを楽しんで頂いている。また、月末には出張理容に依頼をしてカット・パーマ・カラー等を選ぶ事ができる他、家族にて散髪される方もおられ場所等提供をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	現在は外部委託業者により3階の厨房にて調理を行い「できたて」を提供している。用意や後片付けはご利用者と一緒に行い、季節に応じてGH独自で企画をしたり外食レクレーションも企画している。(本年度は外食レクは中止をしている。)	事業所建物内で外部委託業者による調理を行うことで、作り立ての食事を提供できているほか、苦手な食べ物等への個別対応もでき、一人ひとりが楽しみながら食事をとることができている。また、企画に応じておやつや調理レクリエーション、季節に応じた食事の提供なども行っている。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	業務遂行表/食事箋表/食事チェック表にて朝・昼・夕(食事量/水分量/食事形態)等一覧で確認ができるように工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	一人ひとりの状態に合わせて毎食後に口腔ケアの実施や声かけを徹底して特変時は管理者・看護師を通じて医療に繋ぐ事ができている。(業務遂行表で日々の実施確認ができる仕組みがある。)		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	サービス提供記録簿に時系列に記録をして必要な方へは定期的に誘導・声かけなど支援を実施している。(排便記録表や業務遂行表で把握している。必要な方へはかかりつけ医より内服や座薬コントロールの指示を受けて実施をしている。)	一人ひとりの排泄状況をチェックし、水分の調整や内服の管理、トイレ誘導などの介助に活かしている。また、トイレ内手すりや腹圧をかけやすい前傾姿勢支持テーブル型手すりの設置など、トイレでの排泄に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	「排便記録表」「食事箋」を基に一人ひとりに合わせて服薬等の調整をしている。1日の水分摂取量を把握しながら午前中はラジオ体操・ごしごし体操など定着して実施をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	必ずバイタルチェックと当日の体調を確認しながら安心して入浴を楽しんで頂けるよう取り組んでいる。入浴表を作成して男性・女性が苦手な方、室内外の温度調整、足浴、入浴後の塗り薬や保清など利用者に合わせて対応をしている。	利用者は週2~3回の入浴時に体調の確認をしたうえで入浴している。必要に応じて同性介助で行い、安心して入浴してもらおう環境を整えているほか、滑り止めマットの設置など安全面にも配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一人ひとりの生活暦、アセスメントをしっかりと把握をしてご自分のペースで休まれる様に就寝時間を合わせている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>看護師を中心に常に最新の薬表を個人ファイルにまとめて全員が閲覧できるよう周知を徹底している。また、服薬管理セット(朝・昼・夕)を介護スタッフが2人で確認をしながら与薬して間違いのないよう努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>日々の中でご利用者さまの得意分野や新たな気づきをミーティング等で情報交換をしている。また、各自様々な役割やユニット間での交流など楽しみのある生活ができるよう日々努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節に応じてお花見食事会・平和公園へ折り鶴の献納など行っている。日常ではごみ出しや花壇への水やり、日用品の買い物や近隣の散策など工夫をしている。一部の方はご家族の協力を頂いて散策や一時帰宅、定期受診などご都合に合わせて外出されている。(本年度は近隣の散策以外はすべて休止を余儀なくされている。)</p>	<p>天気の良い日には近隣の散歩を行い、通行人と会釈をするなどの外出を行っている。事業所建物の往来から見える位置には花壇が設置され、地域住民も入居者と一緒に花を楽しむことができるなど、感染症対策が必要な時期であっても日常的に外出ができるような工夫を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>原則、紛失などのトラブル防止の為、所持しない様にさせて頂いているが落ち着かれない方へは万が一の了承のもと自己管理をされている。また、小口現金として施設で個別に管理をしており、お買い物や個別の出費などご家族の了承を得た上で使用して毎月末に収支報告を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	季節のお便りや事務所電話、個人所有の携帯電話などいつでも連絡が取れる状態、連絡表がすぐ確認できる状態にしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	温度・空調管理を徹底している。(エアコンと自然の風の併用等)。2ユニット間で職員やご利用者の行き交いも自由でお互いが過ごしやすい工夫をしている。廊下には担当者が作った季節感のある壁面飾りや行事の写真などを展示している。また、天気の良い日は自然光を利用したり生花を飾り心地良く過ごして頂けるよう配慮をしている。	共有空間には日ざしがよく入るように工夫され、換気も随時行っているほか、室温や湿度も常時チェックしている。また、快適に過ごしてもらうために定時の掃除や利用者と共にテーブルを拭くなど、自立支援も行いながら居心地よく過ごしてもらえる工夫も行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	状況に合わせて机の位置が変えられる仕様になっており、席の配慮やソファを移動して体操・レクリエーション・テレビ観賞などゆっくりと1日を過ごして頂けるよう努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ベッド・エアコン・クローゼット・カーテンが標準装備している。ご家族と相談しながらタンス、テレビ、机、お好みの物をご持参して頂いている。馴染みの物で安心して頂いたり、簡易的な収納ボックスで配慮したりご家族と相談をしながら工夫を凝らしている。日頃は、ご利用者と1日1回は掃除機とモップがけを行い、シーツ交換など清潔で居心地良く過ごせる様に工夫をしている。	自室内には利用者の好みの物を持ち込むことができ、写真や馴染みの家具など、本人が落ち着ける雰囲気のある部屋にすることができる。また、掃除機とモップがけを利用者と共に行い、シーツ交換など清潔で居心地の良い環境作りの工夫を行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	洗面台、トイレ、洗濯場、物干し台など設置位置は平面で同線上に配置をしている。またトイレに案内書きをしたり、物置きやトイレ位置に手書きの張り紙を設置するなど、現在のご利用者のお困りごとに合わせて工夫を重ねている。		

V アウトカム項目(ユニット1) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「企業理念・事業所理念」を作成、掲示して朝礼での唱和をマニュアル化している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入して町内の清掃活動、地域行事に参加をして交流している。運営推進会議が定着化して他、定期的に1Fの地域交流室を開放して地元のサークル活動や町内会議、毎週水曜日に「100歳いきいき体操」等に利用して頂き喜ばれている(新型コロナウイルスのまん延防止と予防対策によりすべて休止中)。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議の中で認知症サポーター養成講師がいる事を伝えています。今年も吉島地域包括支援センターからの依頼を中心に活動をしており、2020年度は地域住民を対象に3件の開催しています。令和2年1月に認知症サポーターステップアップ講座指導者養成研修に推薦を頂き参加をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催して地域密着型サービスとして小規模多機能センター管理者と一緒に現状報告や事故報告などを行い運営内容を開示しています。昨年より地域の方と防災訓練を開催して通報訓練・避難訓練・消火訓練を計画しています(今年度はすべて意見・照会とさせて頂いています)。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市区担当者とは書類提出や不明な点はすぐ窓口へ訪問して意見や助言をして頂くなど良好な関係が築けている。広島市の空き情報のネット登録や介護保険の更新・情報提供など積極的に利用をさせて頂いている。(安佐南区、中区、南区、西区、佐伯区)		

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束をしないケア」については契約書に明記しており、ご利用者様に説明と同意を頂いている。また身体拘束委員会を設けて、運営推進会議での意見交換と現任研修の必須項目として開催をして職員の意識向上と介護技術の研鑽に努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	「虐待防止の徹底」として契約書に明記しており、ご利用者様、ご家族へ説明と同意を頂いています。施設に限らず変化に気づけば管理者や行政に報告・相談ができるよう必須項目研修として職員全体の意識向上に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	契約書に明記しており説明をするとともに、相談や見学等必要に応じてパンフレットを窓口置き対応できる仕組みがある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	説明と同意を行っている。改定時は別表を作成して、ご家族様へ丁寧な説明を心掛けて説明と同意を頂くよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情・相談窓口を作り重要事項説明書に明記をしている。また、GH入り口に意見箱を設置、面会者へ行事写真などの掲示、毎月ご利用者さまのご様子を写真にとりまとめてご家族へ送付や年4回の季刊誌の発行（個別に担当者からのコメント記入）など工夫を凝らしている。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度、ユニットごとの会議を開催している。管理者は本社のエリアブロック会議に参加をして上司に月例報告を元に意見を交換するとともに、会社指示を現場に伝える仕組みができています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回、人事考課制度を設けて目標設定を行い、評価する仕組みがある。また、定期的に1人ひとりとの面談を実施して進捗状況や、やりがいについて意見を交換している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月、年間計画に基づいた現任研修の実施、外部研修への参加できる仕組みがある。また、採用時には採用時研修を正社員登用時には本社での正社員研修を必ず行っている。(今年度は外部研修への参加は見合わせをしている)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修や社内勉強会、地域異業種勉強会、社内セグメント同士の情報交換や意見交換、ネットワーク作り等に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居相談時(見学・自宅・入院先等へ出向き)に本人またはキーパーソン・CM・SWの方にアセスメントを行い、入居にあたり不安な事やご要望を伺い、利用開始日に情報を共有してスタッフが対応できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	入居申し込み書と同時に、問い合わせシート・状況申し込み書・アセスメントシート・緊急連絡表・健康診断書・フェイスシート・入居確認シートを整備してそれぞれのニーズの把握に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	原則、ご利用開始日前より初回アセスメントに基づき「ニーズ」を把握している。その後、カンファレンスを開催して「その時点」での短期目標と他のサービス利用も含めた内容を設定して説明と同意を頂いている。その後は、モニタリングと計画書の見直しを定期的実施している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	共同生活をする中で、できる事と出来ない事を把握して、ご利用者同士の関係も含めてミーティングで話し合い、ご本人が自分らしく生活ができるよう自立支援に努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	常に家族様と連絡が取れるよう体制を作り、行事参加や地域交流会への参加、面会時での情報交換をして関係の構築に努めている。散策の協力や生活用品の買い物依頼など嗜好品を伺いながら、共に利用者様を支える関係を意識している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	開設9年目となり、家族様以外に遠方のご親戚、古い友人などの面会や連絡が増えてきました。その際は写真を撮り双方にプレゼントをしたり居室に飾らして頂いている。また、緊急連絡表にも追記させて頂き、情報を蓄積している(今年度は面会制限を設けており、積極的には行えていません)。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	朝礼と夜勤の申し送りで気づきや注意事項等、人間関係が円滑に図れるよう申し送りと支援経過への記録を徹底して、改善・提案・情報の共有ができるよう仕組みを整えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	連絡時には必ず対応をしている。現在、入院等でGHの利用が困難になっている方への状況確認や今後の支援は看護師と相談をしながら医療連携室と家族様とで支援をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中や計画書の見直し（6ヶ月）にサービス内容の達成状況を常に確認をしている。新たに意向が確認できた場合には計画書に反映する仕組みがある。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様を中心に生活歴・趣味・意向などアセスメントへの記録を徹底して、在宅生活の延長の場として安心して暮らして頂けるように支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	既往歴・現病歴（かかりつけ医・服薬も含め）を連携医と把握に努めている。また、介護保険の更新時には必ず情報提供を介護保険課より情報を入手して自立支援を基本にサービスへ反映できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	看護師と介護職員、計画作成者など各職種が連携をしてご利用者本人が主となるよう話し合い、家族様の意向を伺いサービス計画書内容の説明後に同意を頂いている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	業務日誌から支援経過への記入(看護記録も含め)情報共有する仕組みがある。また、必要時には介護計画書を見直してサービス目標を再設定している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	できる事とできない事を見極めながら、ご本人の意向を尊重して対応できる体制で常に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	スーパー、地元商店、近隣公園、かかりつけ連携医等、一人ひとりのご要望に応じて対応ができるよう常日頃から支援を続けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約時にご本人と家族希望のかかりつけ医と緊急連絡順位と搬送先を確認してご要望を伺っている。状態の変化に備えて施設の連携医には入居前に受診をして頂き、緊急時の24時間対応や定期往診などの提案をさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>業務日誌(日勤・夜勤)の詳細は支援経過に記録して、全職員へ情報を提供している。その中で必要時に各職種が連携して適切な判断が行えるよう関係機関へ繋げている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院の連携室へ定期的に連絡・訪問をしている。入院時はご家族へ事前に希望入院先や搬送先を確認しており、入院中の経過の把握と退院時の速やかな再入居に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居・契約時に「重度化した場合における対応に係る指針に関する同意書」「看取り介護に関する方針」説明と同意を頂き、入居以降は関係機関との連携に努めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>「事故発生時または再発防止/事故の発生等緊急時の対応及びリスクマネジメント」として年間研修計画に必須項目として取り入れている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回「非常災害時訓練」として地域消防署とスタッフとの訓練を実施している。内1回は夜間を想定して実施し、災害マニュアルの見直しと役割分担表を確認している。一昨年より近隣住民の方の参加もして頂き、通報・避難・消火訓練を実施していましたが、本年度は少人数で避難通路を再確認するなどリスクを最小限に行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	年間研修計画に「プライバシー保護」「接遇マナー」の研修を取り入れて、全職員の資質向上と自己研鑽に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	一人ひとりに合わせてレクリエーションを楽しんで頂けるように心掛け、様々な役割や自信を持って行える事を増やす様に声かけ等工夫を凝らしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	施設理念の「寄り添う心を忘れずに」を基に穏やかな時間の中でご自分のペースで過ごせる事ができる様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご家族より衣類・化粧品をお預かりしたり職員と買い物をする等、好みを伺いながら日々の身だしなみを楽しんで頂いている。また、月末には出張理容に依頼をしてカット・パーマ・カラー等を選ぶ事ができる他、家族にて散髪される方もおられ場所等提供をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	現在は外部委託業者により3階の厨房にて調理を行い「できたて」を提供している。用意や後片付けはご利用者と一緒に行い、季節に応じてGH独自で企画をしたり外食レクリエーションも企画している(本年度は外食レクは中止をしています)。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>業務遂行表/食事箋表/食事チェック表にて朝・昼・夕(食事量/水分量/食事形態)等一覧で確認ができるように工夫をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>一人ひとりの状態に合わせて毎食後に口腔ケアの実施や声かけを徹底して特変時は管理者・看護師を通じて医療に繋ぐ事ができている。(業務遂行表で日々の実施確認ができる仕組みがある)</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>サービス提供記録簿に時系列に記録をして必要な方へは定期的に誘導・声かけなど支援を実施している。(排便記録表や業務遂行表で把握している。必要な方へはかかりつけ医より内服や座薬コントロールの指示を受けて実施をしている。)</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>「排便記録表」「食事箋」を基に一人ひとりに合わせて服薬等の調整をしている。1日の水分摂取量を把握しながら午前中はラジオ体操・ごしごし体操など定着して実施をしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>必ずバイタルチェックと当日の体調を確認しながら安心して入浴を楽しんで頂けるよう取り組んでいる。入浴表を作成して男性・女性が苦手な方、室内外の温度調整、足浴、入浴後の塗り薬や保清などご利用者に合わせて対応をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活暦、アセスメントをしっかりと把握をしてご自分のペースで休まれる様に就寝時間を合わせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	看護師を中心に常に最新の薬表を個人ファイルにまとめて全員が閲覧できるよう周知を徹底している。また、服薬管理セット(朝・昼・夕)を介護スタッフが2人で確認をしながら与薬して間違いのないよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々の中でご利用者さまの得意分野や新たな気づきをミーティング等で情報交換をしている。また、各自様々な役割やユニット間での交流など楽しみのある生活ができるよう日々努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節に応じてお花見食事会・平和公園へ折り鶴の献納など行っています。日常ではごみ出しや花壇への水やり、日常品の買い物や近隣の散策など工夫をしています。一部の方はご家族の協力を頂いて散策や一時帰宅、定期受診などご都合に合わせて外出されています(本年度は近隣の散策以外はすべて休止を余儀なくされています)。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	原則、紛失などのトラブル防止の為、所持しない様にさせて頂いているが落ち着かれない方へは万が一の了承のもと自己管理をされています。また、小口現金として施設で個別に管理をしており、お買い物や個別の出費などご家族の了承を得た上で使用して毎月末に収支報告を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	季節のお便りや事務所電話、個人所有の携帯電話などいつでも連絡が取れる状態、連絡表がすぐ確認できる状態にしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	温度・空調管理を徹底している。(エアコンと自然の風の併用等)。2ユニット間で職員やご利用者の行き交いも自由でお互いが過ごしやすい工夫をしている。廊下には担当者が作った季節感のある壁面飾りや行事の写真などを展示している。また、天気の良い日は自然光を利用したり生花を飾り心地良く過ごして頂けるよう配慮をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	状況に合わせて机の位置が変更される仕様になっており、席の配慮やソファを移動して体操・レクリエーション・テレビ観賞などゆっくりと1日を過ごして頂けるよう努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ベッド・エアコン・クローゼット・カーテンが標準装備している。ご家族と相談しながらタンス、テレビ、机、お好みの物をご持参して頂いている。馴染みの物で安心して頂いたり、簡易的な収納ボックスで配慮したりご家族と相談をしながら工夫を凝らしている。日頃は、ご利用者と1日1回は掃除機とモップがけを行い、シーツ交換など清潔で居心地良く過ごせる様に工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	洗面台、トイレ、洗濯場、物干し台など設置位置は平面で同線上に配置をしている。またトイレに案内書きをしたり、物置きやトイレ位置に手書きの張り紙を設置するなど、現在のご利用者のお困りごとに合わせて工夫を重ねている。		

V アウトカム項目(ユニット2) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 サンキ・ウエルビィグループホーム吉島

作成日 令和 3年 4月 22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議に家族様にも参加して頂く	家族様の定期的な参加	1. 電話での伝達 2. 書面での伝達 3. 情報の開示 (オンラインを活用しての開放的な開催)	6か月以内 (2か月に1回開催)
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。